

官報

號外 昭和二十一年八月十八日

○第九十回 衆議院議事速記録第三十號

昭和二十一年八月十七日(土曜日)

午後三時三十分開議

議事日程 第二十九號

昭和二十一年八月十七日

午後一時開議

第一 臨時物資需給調整法案(政府提出) 第一讀會

第二 商工協同組合法案(政府提出) 第一讀會

第三 自作農創設特別措置法案(政府提出) 第一讀會

第四 農地調整法の一部を改正する法律案(政府提出) 第一讀會

第五 生活保護法案(政府提出) 第一讀會の續(委員長報告)

〔朗讀ヲ省略シタ報告〕

一、政府カラ提出サレタ議案ハ次ノ通りデアル

自作農創設特別措置法案

農地調整法の一部を改正する法律案

(以上八月十五日提出)

一、昨十六日貴族院ニ於テ本院カラ送

官報號外 昭和二十一年八月十八日

衆議院議事速記録第三十號 議長ノ報告

付ノ次ノ政府提出案ヲ可決シタ旨、同院カラ通牒ヲ受領シタ

改定豫算に關する法律案

一、議員カラ提出サレタ議案ハ次ノ通りデアル

所得税法の一部を改正する等の法律案(政府提出)に對する修正案

提出者 川島 金次君 松永 義雄君

馬四組合法中改正法律案

提出者 佐伯 忠義君 野溝 勝君

鈴木周次郎君 小笠原八十美君

松浦 東介君 小川原政信君

香川 兼吉君

學校課外柔道練習許可に關する建議案

提出者 田原 春次君 平野 力三君

及川 規君 布 利秋君

農山漁村文化運動促進ニ關スル建議案

提出者 成島 勇君 平野 力三君

北 勝太郎君 野溝 勝君

石黒 武重君

族稱中士族平民ノ呼稱廢止ニ關スル建議案

提出者 私立大學復興ニ關スル建議案

提出者 戰災圖書館ノ復興促進ニ關スル建議案

提出者 八坂善一郎君 津島 文治君

八坂善一郎君 津島 文治君

北村徳太郎君

舟崎 由之君

北村徳太郎君 野溝 勝君

石黒 武重君

族稱中士族平民ノ呼稱廢止ニ關スル建議案

提出者 私立大學復興ニ關スル建議案

提出者 戰災圖書館ノ復興促進ニ關スル建議案

提出者 八坂善一郎君 津島 文治君

八坂善一郎君 津島 文治君

金光 義邦君

主要食糧ノ價格引上げニ關スル建議案

提出者 武藤 常介君 加藤 高藏君

宮原 庄助君 鈴木 明良君

小野瀬忠兵衛君

メートル法即時斷行及び度量衡法令改正に關する建議案

提出者 早稻田柳右エ門君 井上 知治君

八坂善一郎君 津島 文治君

津島 文治君

北村徳太郎君

舟崎 由之君

八坂善一郎君 津島 文治君

津島 文治君

北村徳太郎君

舟崎 由之君

八坂善一郎君 津島 文治君

津島 文治君

私立中等學校恩給財團國庫補助金増額等ニ關スル建議案

提出者 及川 規君 廿日出 庭君

杉本 勝次君 松原 一彦君

笹森 順造君

高崎線大宮、高崎間電化ニ關スル建議案

提出者 關根 久藏君 宮前 進君

瀧澤 濱吉君 最上 英子君

國會圖書館並に議員會館建設に關する建議案

提出者 笠井 重治君 石黒 武重君

北 吟吉君 大野 伴陸君

鈴木 義男君 森戸 辰男君

田中 萬逸君 吉田 安君

山本 實彦君 林 平馬君

犬養 健君

(以上八月十五日提出)

青年訓育に關する建議案

提出者 稻葉 道意君 大野 伴陸君

戰災死者慰靈塔建立費ノ國庫補助ニ關スル建議案

提出者 大久保傳藏君 細川八十八君

松山農業專門學校の官立移管に關する建議案

提出者 山口光一郎君

山口光一郎君

山口光一郎君

山口光一郎君

山口光一郎君

山口光一郎君

山口光一郎君

提出者

藥師神岩太郎君 高橋 英吉君

關谷 勝利君 林田 哲雄君

馬越 晃君 稻本 早苗君

淡路島の電氣供給確保に關する建議案

提出者 坂本市外ニ官立ノ男女共學醫科大學設置ニ關スル建議案

提出者 山口 好一君 金子益太郎君

杉田 一郎君 高瀬 傳君

戸叶 里子君 大島 定吉君

船田 享二君 江部 順治君

菅又 蕪君 山口光一郎君

乳幼児保育施設の整備擴充に關する建議案

提出者 村島 喜代君 中山 たま君

山下 春江君 菅原 エン君

森山 ヨネ君 齋藤 てい君

竹内 歌子君 最上 英子君

報德道振興に關する建議案

提出者 圓谷 光衛君 武田信之助君

麻生 正藏君 原尻 東君

平野 八郎君 東 隆君

山口光一郎君

山口光一郎君

山口光一郎君

山口光一郎君

山口光一郎君

山口光一郎君

山口光一郎君

山口光一郎君

明治二十五年三月三十一日 第三種郵便物認可

四國循環鐵道中窪川、吉野生間建設
工事促進ニ關スル建議案

提出者

藥師神岩太郎君 高橋 英吉君
關谷 勝利君 馬越 晃君

林田 哲雄君 氏原 一郎君
稻本 早苗君 村上 勇君

佐竹 晴記君

九州四國鐵道連絡實現ニ關スル建議案

提出者

藥師神岩太郎君 高橋 英吉君

林田 哲雄君 關谷 勝利君

稻本 早苗君 馬越 晃君

村上 勇君 氏原 一郎君

佐竹 晴記君 今村 等君

田原 春次君

愛媛縣肱川治水問題ノ根本的對策ニ
關スル建議案

提出者

高橋 英吉君 藥師神岩太郎君

林田 哲雄君 關谷 勝利君

馬越 晃君 稻本 早苗君

村上 勇君 佐竹 晴記君

私學振興に關する建議案

提出者

武藤運十郎君 坂東幸太郎君

稻田 直道君 伊藤 郷一君

高場市に高等學校設置に關する建議案

提出者 武藤運十郎君

主食のパン食切換へに關する建議案

提出者 木村 チヨ君

四國循環鐵道中窪川和島市ヨリ高知縣
宿毛、中村兩町經由江川崎ニ至ル線
新設ニ關スル建議案

提出者

藥師神岩太郎君 高橋 英吉君

關谷 勝利君 林田 哲雄君

馬越 晃君 稻本 早苗君

村上 勇君 氏原 一郎君

佐竹 晴記君

一、議員カラ提出サレタ質問主意書ハ
次ノ通りデアル

緊急事件ニ法案に關する質問主意書

提出者 布 利秋君

憲法改正に伴ふ諸法規改正に關する
質問主意書

提出者 米山 文字君

一、去十五日吉田内閣總理大臣カラ次
ノ通り發令ガアツタ旨ノ通牒ヲ受領
シタ

物價廳次長 工藤昭四郎

第九十回帝國議會政府委員被仰付
(八月十四日附)

貿易廳長官 塚田 公太

第九十回帝國議會商工省所管事務政
府委員被仰付(七月三十一日附)

一、去十五日常任委員補選ノ結果

次ノ通り當選シタ

第三部選出

豫算委員 金光 義邦君(鈴木明
良君補闕)

第五部選出

豫算委員 犬養 健君(青木泰
助君補闕)

第五部選出

豫算委員 武田 キヨ君(竹内茂
代君補闕)

第七部選出

豫算委員 成島 勇君(有馬英
二君補闕)

第七部選出

豫算委員 平野 增吉君(原健三
郎君補闕)

第七部選出

豫算委員 舟崎 由之君(寺島隆
大郎君補闕)

第八部選出

豫算委員 細川八十八君(川崎秀
三君補闕)

第八部選出

豫算委員 宮前 進君(仲川房
次郎君補闕)

第九十回帝國議會政府委員被仰付

結果次ノ通り當選シタ

會計法戰時特例廢止等に關する法律
案(政府提出)委員

理事 田原 春次君(理事島田普
作君去十三日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

一、去十五日次ノ通り特別委員ノ異動
ガアツタ東京都制の一部を改正する
法律案(政府提出)外三件委員

辭任竹谷源太郎君 補闕笠井 重治君

會計法戰時特例廢止等に關する法律
案(政府提出)委員

辭任竹谷源太郎君 補闕中島 茂喜君

辭任藤田 榮君 補闕細道 兼光君

辭任瀧澤 脩作君 補闕武田信之助君

辭任山田 善三君 補闕木村 公平君

生活保護法案(政府提出)委員

一、去十五日特別委員理事補選ノ
結果次ノ通り當選シタ

會計法戰時特例廢止等に關する法律
案(政府提出)委員

理事 田原 春次君(理事島田普
作君去十三日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

一、去十五日次ノ通り特別委員ノ異動
ガアツタ東京都制の一部を改正する
法律案(政府提出)外三件委員

辭任竹谷源太郎君 補闕笠井 重治君

會計法戰時特例廢止等に關する法律
案(政府提出)委員

辭任竹谷源太郎君 補闕中島 茂喜君

辭任藤田 榮君 補闕細道 兼光君

辭任瀧澤 脩作君 補闕武田信之助君

辭任山田 善三君 補闕木村 公平君

生活保護法案(政府提出)委員

辭任田中 たつ子君 補闕木村 チヨ君

昭和十九年度第一豫備金支出の件
(承諾を求めたる件)外十一件委員

辭任鈴木茂三郎君 補闕町田 三郎君

一、昨十六日吉田内閣總理大臣カラ次
ノ通り發令ガアツタ旨ノ通牒ヲ受領
シタ

商工事務官 玉置 敬三

同 小出 榮一

同 松尾 金藏

第九十回帝國議會商工省所管事務政
府委員被仰付

大藏事務官 森永貞一郎

第九十回帝國議會大藏省所管事務政
府委員被仰付

一、昨十六日衆議院規則第十五條但書
ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ次ノ通り變
更シタ

二八九 原 佑君

二九三 松永 佛骨君

二九五 竹谷源太郎君

一、昨十六日議長ニ於テ次ノ通り常任
委員辭任ノ許可ガアツタ

第一部選出豫算委員 荒木 武行君

第二部選出豫算委員 小澤 國治君

第三部選出豫算委員 金光 義邦君

第四部選出豫算委員 佐藤厚次郎君

第五部選出豫算委員 田中 善内君

第七部選出豫算委員 舟崎 由之君

第七部選出豫算委員 成島 勇君

第七部選出豫算委員 平野 增吉君

第八部選出豫算委員 細川八十八君

第八部選出豫算委員 森 幸太郎君

一、昨十六日特別委員理事補選ノ
結果次ノ通り當選シタ

勞働關係調整法案(政府提出)委員

理事 原 健三郎君(理事岡部得
三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

同 三君去十四日委員辭任ニ
付其ノ補闕)

理事 川崎 秀二君 (理事古賀喜太郎君去十四日委員辭任ニ付其ノ補闕)

理事 武田信之助君 (理事瀧澤脩作君去十五日委員辭任ニ付其ノ補闕)

帝國憲法改正案(政府提出)委員
辭任左藤 義詮君 補闕高橋 英吉君
勞働關係調整法案(政府提出)委員
辭任北村徳太郎君 補闕椎熊 三郎君
辭任天野 久君 補闕白井 秀吉君

○議長(議員三君) 是ヨリ會議ヲ開キマス
伏見宮博恭王殿下ノ薨去ニ對シ申詞奉呈ノ件(議長發議)

○議長(議員三君) 此ノ際御諮リスルコトガアリマス、伏見宮博恭王殿下ハ、昨十六日薨去セラレマシタ、仍テ議長ハ昨日參内致シマシテ、天機竝ニ御機嫌ヲ奉伺致シ、伏見宮家ニ弔意ヲ表シマシタ、就キマシテハ本院ハ哀悼ノ意ヲ表スル爲メ、申詞ヲ呈シタイト存ジマス、其ノ文案ヲ朗讀致シマス

衆議院ハ伏見宮博恭王殿下ノ薨去ヲ哀悼シ
謹ミテ申詞ヲ呈ス
之ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(議員三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ其ノ通り決シマシタ

○議長(議員三君) 議員河野密君ヨリ辭表ガ提出セラレテ居リマス、之ニ付キ御諮リ致シタイト思ヒマス、先ヅ其ノ辭表ヲ朗讀致サセマス
〔書記官朗讀〕
辭職願
衆議院議員 河野 密
右者今般都合ニ依リ衆議院議員ヲ辭職致度此段及御願候也

昭和二十一年八月十六日
右 河野 密
衆議院議長議員三殿

○議長(議員三君) 河野密君ノ辭職ヲ許可スルニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(議員三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ許可スルニ決シマシタ

○山口君久一郎君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際椎熊三郎君提出、密航取締竝に治安維持に關する緊急質問ヲ許可セラレンコトヲ望ミマス

○議長(議員三君) 山口君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(議員三君) 御異議ナシト認メマス——政府ハ此ノ議事日程變更ニ同意セラレマシタ、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、密航取締竝に治安維持に關する緊急質問ヲ許可致シマス——提出者椎熊三郎君

密航取締竝に治安維持に關する緊急質問(椎熊三郎君提出)

○椎熊三郎君 諸君、私ハ茲ニ日本領域内ニ於ケル最近ノ新タナル事態ニ對シテ、治安維持ノ處置ニ付テ政府ノ所信ヲ質サントスルモノデゴザイマス

惟フニ過去ニ於ケル日本ノ警察行政、治安維持ノ狀況ニ付キマシテハ、彼此レ非難サレル所モゴザイマシタガ、特高警察ノ如キヲ除キマシテハ、概ネ一般警察官ノ網紀ハ嚴守セラレ、特ニ治安警察ノ實績ヲ相當擧ゲテ來マシタコトハ、何人モ認メル所デアラウト存ジマス、然ルニ終戦後日本ノ警察ノ狀況ハ如何デゴザイマセウカ、洵ニ思ヒ半バニ過グルモノガアルト思フノデアリマス、勿論敗戦ノ「シヨツク」ヲ受ケテ、日本人ハ一様ニ虚脱ノ状態ニアツタコトハ無理カラヌコトデハゴザイマスルガ、現下ノ警察力ハ餘リニモ無力デアル、此ノ無力ナル状態ハ一體何ト云フコトカ、警察ノ

民主化トハ警察ノ無力化デハナイ(拍手)殊ニ終戦當時マデ日本ニ在住シ、日本人トシテ生活シテ居ツタ臺灣人、朝鮮人、是等ガ終戦ト同時ニ、恰モ戰勝國民ノ如キ態度ヲナシ、其ノ特殊ナル地位、立場ヲ悪用シテ、我が日本ノ秩序ト法規ヲ無視シ、傍若無人ノ振舞ヲ政テナシ來ツタコトハ、實ニ我等ノ監視スル能ハザル所デアリマス(拍手)

○議長(議員三君) 於テ治安維持ニ關スル緊急質問ガアリマシテ、政府當局ハ之ニ對シテ斷乎タル決意ヲ示サレタノデアリマス、最近ニ至リマシテハ一タビ歸國シタル彼等、特ニ朝鮮人ノ如キハ、再ビ日本ニ密航潛入セントスル者ガ、日ヲ逐ウテ其ノ數ヲ増加シ、九州、山陰方面ニ於キマシテハ、其ノ數實ニ數萬ニ及ブト聞キ及ンデ居ルノデアリマス、而モ彼等ハ日本警察力ノ微弱ニ乘ジテ、兇器ヲ携ヘ、徒黨ヲ組ミ、驚クベキ兇惡性ヲ發揮シテ、當該住民ノ生活ヲ脅カスコト實ニ言語ニ絶スルモノガアルト聞イテ居リマス(拍手)而モ尙ホ恐ルベキハ是ノミニ止マリマセヌ、彼等ノ中ニハ「コレラ」、「チフス」、赤痢等ノ保衛者ガ多數アツテ、是ガ内地ニ傳播サレテ、今ヤ内地ニ於キマシテハ各所ニ夥シキ罹病者ヲ出シテ居ル事

實ガアリマス、政府ハ此ノ狀況ヲ何ト見ラル、ノカ、而シテ此ノ狀況ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ラレテ居ルノデゴザイマセウカ、此ノ際此ノ實情ヲ詳細ニ承リ、併セテ政府ノ所信ヲ質シタイノデアリマス

次ニ今尙ホ内地ニアツテ外國人タル特殊ノ地位ヲ悪用シ、警察力ノ無力化ニ乗ジテ、凡ユル不法ヲ敢テスル多數ノ者ノアルコトハ、既ニ諸君モ御承知デゴザイマセウ、我々ハ遺憾ナガラ戰國民デハアリマスルガ、終戦ノ際間マデ同胞トシテ、共ニ此ノ國ノ秩序ノ下ニ生活シテ居ツタ者ガ、直チニ變ツテ恰モ戰勝國民ノ如ク、而モ勝手ニ鐵道ナドニ專用車ナドト云フ貼紙ヲ附シタリ、或ハ他ノ日本人ノ乗客ヲ輕蔑壓迫シ、見ルニ堪ヘザル兇暴ナル振舞ヲ以テ凡ユル惡行動ニ出デテ居ルト云フ事實ハ、全ク驚クベキモノガゴザイマス(拍手)諸君、此ノ朝鮮人、臺灣人等ノ最近マデノ見ルニ堪ヘザル此ノ行動ハ、敗戦ノ苦シミニ喘ギ來ツタ我等ニ取リマシテハ、正ニ全身ノ血液ガ逆流スルノ感情ヲ持ツノデアリマス(拍手)而シテ彼等ハ其ノ特殊ナル立場ニ依ツテ、警察力ノ及バザル點アルヲ利用シテ閣取引ヲナシ、日本ノ閣取引ノ根源ハ正ニ今日ノ此ノ不逞ナル朝鮮人ナド

ガ中心ニナツテ居ルト云フコトハ、今日ノ日本ノ商業取引、社會生活ノ上ニ及ボス影響ハ驚クベキモノガアルノデアリマス、或ハ禁制品ヲ大道ニ於テ密賣シ、或ハ露店ヲ占據シテ、警察力ヲ侮辱シツ、白晝公然ト取引ヲナシツツアルガ如キハ、斷ジテ私共ハ無視スルコトハ出来マセズ(拍手)而モ彼等ハ外國人タルノ立場ニ依ツテ、營業ハ悉ク無稅デゴザイマス、諸君、内務大臣ハ、殊ニ朝鮮人等ノ營業許可ニ對シテハ、日本人ヨリモ便宜ヲ與ヘテ居ルガ如キ感ヲ呈セラレル今マデノ狀況ヲ何ト見ルカ、而モ此ノ無稅ヲナゼ取締ラヌノカ、サウシテ取締ル意思ガアルノカ、取締ルトシテモ、「ボツダム」宣言受諾ノ日本ガ、之ニ裁判權ヲ加ヘルノ力アリヤ否ヤ、此ノ問題ニ付テハ政府ノ責任アル御答辯ヲ御願ヒシタイ(拍手)若シ此ノ問題ヲ此ノ儘ニシテ放置スルナラバ、正ニ南方方面ニ於ケル所ノ華僑ノ勢力ノ如ク、日本ノ中小商業權ト云フモノハ恐ラク彼等ノ手ニ掌握セラル、ノデハナイカト云フ憂ヒサヘアル(拍手)今ヤ五百億ヲ超エル日本ノ新圓ノ其ノ三分ノ一ハ、恐ラク彼等ノ手ニ握ラレテ居ルノデハナイカト云フ噂サヘアルノデゴザイマス、若シ夫レ此ノ噂ニシテ眞實ナラバ、日本ノ微弱

ナル商業者ハ、無稅ニシテ外國人タル立場ヲ以テナス所ノ此ノ朝鮮人、臺灣人ノ行動ニハ、商取引トシテハ敵ハナリ、現ニ神戸、大阪ノ如キハ、既ニ露店商人、飲食店ハ悉ク臺灣人、朝鮮人ニ依ツテ掌握サレテ居ルト云フ此ノ事實ヲ内務當局ハ何ト見ラレマスカ、諸君、今ニシテ政府ハ儼然タル態度ヲ示スニアラズンバ、洵ニ由々シキ問題ガ惹起スルデアラウコトヲ私ハ懼レマス(拍手)政府ハ之ニ對シテ如何ナル處置ヲナサントスルノデアリマスカ、明確ナル御答辯ヲ要求致シマス

惟フニ治安ノ確保ハ、現狀ノ如キ警察力ヲ以テシテハ非常ニ困難デゴザイマセウ、併シ如何ニ困難ナリト雖モ、目下ノ狀況ヲ此ノ儘放置スルト云フコトハ絕對ニ許サレマセズ、政府ハ現在ノ警察力ノ狀況ヲ明カニシ、之ニ對スル所信ヲ明示セラレンコトヲ望ミマス、政府ハ最近治安關係閣僚ノ懇談會ナルモノヲ開イタト云フコトヲ承ツテ居リマス、其ノ結論ハ如何ナルモノデゴザイマシタデセウカ、治安維持ノ第一線ニ立ツ者、即チ警察官ノ待遇改善ノ如キハ、固ヨリ即決スベキデアツテ當然デゴザイマセウ、關係閣僚ノ之ニ對スル御意見モ承リタイ、今日社會不安ノ眞ツ只中ニアツテ日夜治安ノ維持

ニ挺身サレツ、アル者ノ生命ト生活ハ、國家的ニ絕對ニ保障セラレネバナラト私ハ信ジマス(拍手)而シテ民主化サレタ我ガ國ノ警察官ハ、先ヅ第一ニ教養ヲ高メ、常識ヲ養ヒ、眞ニ國民ノ公僕タルノ範ヲ示スベキデアラウト私ハ存ジマス、隨テ民主化サレタル警察官ハ、人權ヲ尊重シ、科學的方法ニ依リ、或ハ機械力ニ依リ、ヨリ能率のニシテ文化的ナル警察力ノ發展ヲ希望シテ已マヌモノデゴザイマス

以上聊カ私見ヲ申述ベマシテ、最近ニ於ケル特殊ノ事態、即チ朝鮮人ノ密航問題、病毒ノ傳播、閣取引ノ取締、租稅問題等詳細ナル説明ヲ伺ヒ、而シテ政府ノ所信ヲ此ノ席上ニ於テ明確ニ御述ベアランコトヲ私ハ希望致シマス、即チ政府ハ此際率直ニ事態ヲ闡明シ、我々國民ノ安心スルニ足ル御答辯アラシコトヲ希望致シマシテ降壇スル次第デアリマス(拍手)

〔國務大臣(入村清)一君登壇〕

○國務大臣(大村清一君) 只今惟熊君ヨリ我が國ノ治安狀態ノ現狀ニ鑑ミマシテ、熱誠ナル、又痛烈ナル緊急質問ガゴザイマシテ、其ノ御述ベニナリマシタコトニ對シマシテハ、政府殊ニ治安ノ責任者ト致シマシテ深く同感ノ意ヲ表スルモノデアリマス

御述ベニナリマシタ如ク、昨年終戦後ノ國內ノ變動期ニ際シマシテ、警察モ確カニ所謂虛脱狀態ニ陥リマシテ、十分其ノ機能ヲ發揮シ得ナカッタコトノアリマシタコトハ、洵ニ遺憾デアリマスガ之ヲ否認スル譯ニハ參ラナカツタト思フノデアリマス、併シ其ノ後漸次警察力ヲ回復致シマシテ、段々軌道ニ乗ツテ參リ、近時ノ警察對象ハ中々生命ノ危險モ度々アルト云フコトデゴザイマスガ、全警察官ハ敢然トシテ危急ニ赴クト云フ精神力ヲ回復致シマシテ、一意奉公ノ誠ヲ效スト云フコトニナリツ、アザマスコトハ、聊カ意ヲ強ウスルニ足ルコトト信ジテ居ル次第デアリマス

各方面ニ互リマシテ御質疑ガアツタノデアリマスガ、先ヅ密入國ノ問題ニ付キマシテ御報告ヲ致シ、政府ノ決意ヲ申述ベタイト思ヒマス、最近西日本ノ鳥取、島根、山口、福岡、佐賀、長崎ノ各縣沿岸ニ互リマシテ、終戦後歸鮮致シマシタ者等ノ中デ、密カニ機帆船等ニ便乘致シマシテ、分散のニ若シクハ集團のニ本邦内ニ潛入ヲ企テル者ガ少クナイノデアリマス、本年四月ニハ其ノ數五百餘人デアリマシタモノガ、五月、六月ト漸増致シマシテ、七月ニ至リマシテハ實ニ八千九百餘人ニ

及フト云フ有様デアリマス、關係地方官民ノ努力ニ依リ、凡ソ其ノ入剽ハ檢擧致シテ居リマスガ、其ノ二割ハ逃走ヲ致シテ居ルト云フ狀況デアリマス、尙ホ他ニ密カニ潛入ヲ致シ、統計ノ數字ニ上ラヌ者モアル見込デアリマシテ、ソレ等ノ者ハ本邦各地ニ分散シテ、不堅實ナル間ノ生活ヲ營ミ、治安攪亂ノ禍因トナル處ガ多大デアリマス、加之是等密航朝鮮人ノ中ニハ「コレラ」ヲ持ツテ入ツテ來ルト云フ危險ガ昨今頗ル大キイノデアリマシテ、現ニ發見致シマシタモノダケデモ、六月以降ニ於キマシテ眞性「コレラ」ガ五十人、疑似其ノ他ノモノガ十人、合計六十人ト云フ狀況デアリマシテ、保健衛生上ヨリ見マシテモ、國民ニ多人ノ脅威ヲ與ヘテ居ル次第デアリマス、斯様ニ朝鮮人ノ密入國ノ問題ハ洵ニ困ツタ憂慮スベキ大問題デアリ、而モ一刻モ放置スルコトヲ許サレズ事柄デアリマスノデ、現地ノ警察當局ハ、警防團員並ニ其ノ他一般民衆ノ協力モ得マシテ、極力其ノ發見檢擧ニ努メテ居ル次第デアリマスガ、必ズシモソレガ完全ニ行ツテ居ルトハ申上ゲラレナイ實情デアリマス、故ニ其ノ根本對策ト致シマシテ、政府ハ各省相協力致シマシテ、水上警察ノ擴充、海上哨戒ノ整備、密

航者取締法令ノ確立等速急ニ必要ナル諸方策ヲモ講ジマシテ、本問題ヲ憂慮セラレル各位並ニ國民ノ期待ニ副フヤウ奮ツテ努力ヲ致シ、遺憾ナキヲ期スル決心デアリマス

次ニ第三國人ニ依リマシテ、或ハ闇市場ニ於ケル各種ノ好マシカラザル行爲ガ頻々トシテ行ハレテ居ルコト、或ハ列車ノ中ニ於ケル暴狀、不正乗車、是等見ルニ忍ビザル行爲ニ付キマシテハ、國民齊シク不快トセラレ、又是ガ我が國ノ治安ヲ擾亂スル一ツノ重大な要素デアルト云フ點ニ於キマシテ、多大ノ憂慮ヲ寄セラレテ居リマス

期シテ居リマスガ、其ノ實績ハ幸ヒニシテ豫期以上ノ效果ヲ收メテ居ルト申上ゲテ毫モ差支ナイト思フノデアリマス、今後一層取締ヲ嚴ニシ、又一面ニ於キマシテハ所謂青空市場ノナクナリマシタ爲ニ、一般民衆ニ與フル不便ヲ救フ、乃至ハ戰災者、歸還者其ノ他洵ニ氣ノ毒ナ人々ガ、青空市場ニ於テ生計ヲ立テテ居ルト云フコトモ少クナイノデアリマス、是等ノ人々ニ對シマシテモ適切ナル方途ヲ講ジマシテ、闇市場ト云フヤウナ不法ヲ商賈デナク、正業ニ依リマシテ生計ヲ立テ、又一般民衆モ闇市場ニ依ラズシテ、公正ナル市場カラ需要品ヲ容易ニ買ヒ得ルト云フ所ニ目標ヲ置キマシテ、各省協力致シ、ソレ等ノ施策ト相俟チマシテ、闇取引ノ根絶ヲ期スルコトニ邁進スル決心デアリマス

尙ホ第三國人ノ課税問題、又取締ノ徹底問題ニ付キマシテハ、今日只今ノ所ニ於キマシテハ、裁判管轄ノ點ニ於キマシテ結論ニ達シテ居ナイ點ガアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ目下政府ニ於キマシテ極力解決ニ努力ヲ致シテ居リマス、速カニ是ガ解決ヲ致シマシテ、第三國人ハ我が國民ト同等ノ機會ニ惠マレマシテ、公正ナル營業取引ヲ致スコトニスルコトガ絶対ノ必要

デアリマスノデ、政府ト致シマシテハ、此ノ點ニ付キマシテ深甚ノ考慮ト遺憾ナキ努力ヲ致シマシテ、國民ノ御期待ニ副フヤウニ努力ヲ致シマシマス尙ホ今日ノ警察力ハ、其ノ對象ト致シテ居リマスル警察事故ト對比致シマシテ、必ズシモ十分デナイト云フヤウナ感ハナイ譯デアゴザイマセヌガ、併シ日本ノ治安ヲ維持ハ、今日ニ於キマシテハ日本警察ノ雙肩ニ懸ツテ居ルコトハ申スマデモナイコトデアリマシテ、全警察力ヲ動員致シマシテ、彼等ノ國民ニ對スル忠誠心ニ俟チマシテ、凡ユル努力ヲ致シマシテ、國民ノ御期待ニ副フ如ク極力努メル積リデ居リマス尙又我が國ノ治安問題ハ日本政府ノ責任デアゴザイマシテ、進駐軍ノ關セラレル所デアナイノデアリマスルガ、進駐軍ニ於キマシテモ、我が國ノ治安ノ素レマスコトハ、其ノ進駐軍ノ安全ニモ關スル點ニ於キマシテ、共通ノ利害ガアル所デアリマス故ニ、進駐軍ニ於カレマシテハ、常ニ陰ニ隠レテ適切ナル勸告ト注意ト支援トヲ與ヘラレテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付キマシテハ私共常々衷心ヨリ感謝ヲ致シテ居ル所デアリマス、是等ノ點カラ考慮致シマシテ、必ズシモ十分ナラズト云フ感ナキニアラズデアリマスガ、併シ私

ノ信ズル所ニ依リマスレバ、現下ノ約九萬ノ警察力ニ依リマシテ、日本ノ治安ハ逐次改善ヲサレマシテ、國民ノ御期待ニ副フダケノモノニ打立テルコトガ出來ルト云フ深キ確信ヲ持ツテ居ル次第デアリマス尙ホ此ノ席ニ於キマシテ警察官ノ苦心ト努力ニ付テ御同情ヲ賜ハリマシタコトニ付キマシテハ、深甚ノ謝意ヲ表スル次第デアリマス(拍手)

〔國務大臣河合長成君登壇〕
○國務大臣(河合長成君) 只今ノ権能君ノ御質問ニ御答ヘ致シマス、朝鮮カラノ密航者ノ持ツテ參リマスル病毒ハ、「チフス」、赤痢等モ多少アリマスケレドモ、問題ノ中心ハ「コレラ」ナシデアリマス、ソレデ上海カラノ復員ノ時ニ浦賀(來マシタ「コレラ」)ノ病毒ニ付キマシテハ、是ハモウ全防疫員ノ獻身的努力ニ依リマシテ、御承知ノ通りニ全ク終熄致シマシタ、聯合國側ノ視察者カラモ特別ナ賞辭ヲ贈ラレテ居ルヤウナコトデアリマス、所ガ今度ハ南鮮ニ非常ニ「コレラ」ガ猖獗シテ居リマス、ソレデ只今マデノ結果ニ依リマス

ト、病毒ノ齎サレタ件數ガ五十九件、患者數ガ二百九十五名デアリマス、是ハ浦賀ノ場合ト違ヒマシテ、中々密航者ガ捕ラナイ、直接上陸シテ參ルヤ

ウナ人員ガ多イノデ、非常ニ防疫ニ骨ガ折レル實情デアリマス、ソレデ密航者ヲ捕ヘタモノハ、舞鶴、仙崎、佐世保ノ三検査所ヘ持ツテ行ツテ直チニ検査致シマスシ、又上陸シタ密航者ハ、其ノ發見地附近ニ留置場ヲ作リマシテ、其處デ検査致シテ居ル次第デアリマシテ、全防疫陣ヲ擧ゲテ涙ガマシイ獻身的努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス、併シ問題ハ上陸者ノ範圍ガ廣洲ニ互リマスノデ、非常ニ骨ガ折レルノデアリマス、ソレデ唯今後ハ船艇ヲ増加シ、サウシテ取締ヲ嚴ニシマシテ、勿論警察力ト力ヲ協セマシテ完全ナル防疫ヲヤリタイ、殊ニ一般ノ水上警察等ニ付テハ船艇等ノ相當ノ取締ヲ——大キナ船ナド造レヌノデアリマスガ、防疫ノ方面カラドウシテモ「コレラ」ガ上陸シテハ堪ラヌノデアリマスカラ、之ヲヤルト云フコトニハ相當力ヲ入レテヤルト云フ確信ヲ持ツテ居リマス、此ノ面ニ於テ今計畫ヲシテ居ル最中デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス(拍手)

○山口喜久一郎君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此ノ際日程第五ヲ繰上ゲ上程シ、其ノ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス
○議長(樋貝隆三君) 山口君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼ブ者アリ〕

○議長(橋本三喜) 御異議ナシト認
メマス、仍テ日程ノ順序ハ變更セラレ
マシタ。日程第五、生活保護法案ノ
第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報
告ヲ求メマス。委員長庄司一郎君

第五 生活保護法案(政府提出)

第一讀會の續(委員長報告)

報告書

一 生活保護法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スベキモノト議
決シタ因ツテココニ報告スル

昭和二十一年八月十五日

委員長 庄司 一郎

衆議院議長橋本三喜殿

附帶決議

- 一、民生委員ノ國家待遇ヲ厚クシ、其ノ手當ヲ相當額ニ増額スベシ。
- 二、民生對策上、中央、地方ニ効果的ナル委員會ヲ設ケ、本法運営上ノ萬全ヲ期セラレ度シ。
- 三、民生委員ノ銓衡方法ヲ民主化シ、町内會長、部落會長、引揚同胞總代、社會事業關係者、要保護者中ヨリモ銓衡セラレ度シ。
- 四、都、道府縣ノ銓衡委員會ニハ、

多分ニ地方議員ヲ参加セシメラレ度シ。

五、本法ヲ中心ニ、社會事業法、司法保護事業法等ノ調整ヲ圖リ且ツ國民保險組合ノ改善、失業保險ノ創設ニ前進スベシ。

六、生業扶助一人當リノ扶助額ヲ増額スルト共ニ、施設費ニ付テモ相當額ヲ増額セシメラレ度シ。

七、國立病院、結核療養所等ノ收容者等ニ對シテモ、本法ニ依ル生活保護ノ愛ノ手ヲ伸ベラレ度シ。

(庄司一郎君登壇)

○庄司一郎君 只今上程サレマシタ生活保護法案ニ付キマシテ、委員會ノ審議ノ經過並ニ其ノ結果ニ付キマシテ簡單ニ御報告ヲ申上ゲタイト思ヒマス

本法案ハ先月十七日ニ本會議ニ上程サレ、即日二十七名ヨリナル委員會ニ御付託ヲ受ケタノデアリマス、委員會ニ於キマシテハ現在ノ社會情勢下ニ於ケル本法案ノ重要性ニ鑑ミマシテ、先月十九日ヨリ十有三回ニ互ツテ慎重ナル審議ヲ遂ゲタノデアリマス、其ノ間數回ノ懇談會ヲモ加ヘ、而モ此ノ二十七名ノ委員中ニ於テ發言ヲ求メラレマシタ委員各位ハ二十三名デゴザイマス、更ニ委員外ノ發言

ノ志願者トシテ、議員柄澤モ志子君ノ御發言ヲ御許シ致シマシタ、而シテ一昨十五日ニ其ノ審議ヲ終了致シタ次第デアリマス

本法ニ付キマシテハ、去ル本會議ニ於キマシテ政府ヨリ一應ノ説明ガアツタノデアリマスガ、要スルニ現在ノ社會情勢下ニ憐ム多數ノ生活困難者ニ對シマシテ、國家ガ無差別平等ニ其ノ最低生活ヲ保障シ、社會ノ福祉ヲ増進スル爲ニ、從來ノ救護法、母子保護法、軍

事扶助法、戰時災害保護法、醫療保護法等ニ代ツテ茲ニ新タニ制定セラレントスルモノナノデアリマス、以下委員會ノ審議ニ於ケル主ナル質疑應答ノ若干ヲ申上ゲタイト思ヒマス、第一ニハ、現情勢ニ對處スベキ社會事業ニ關スル政府ノ根本的所信ニ付テノ質問ガアリマシタ、之ニ對シ吉田内閣總理大臣ヨリ政府トシテハ經濟安定ヤ就業對策ニ關シテ極力努力スル、他面生活困難者ニ對スル保護救濟、特ニ其ノ最低生活ノ保護ニ付テ大イニ意ヲ用ヒ、十分出來ルダケノコトヲ致ス積リデア

ル旨ノ答辯ガアツタノデアリマス、第二ニハ、本法律案ノ根本的精神如何、即チ本法ハ慈惠的或ハ恩惠的ナ立場カラ作ラレタモノデアルカドウカ、或ハ國民ノ最低生活保障ニ關スル國家ノ責

任ト義務的觀念カラ發シタモノデアアルカドウカトノ質問ニ對シマシテハ、政府ヨリ本法ハ道徳的ニ人道主義ニ出デタモノデアアルケレドモ、之ヲ法律的ニ見ルナラバ、國家ノ責任ト義務觀念ノ上ニ立脚スルモノデアツテ、決シテ彼ノ慈惠的ナ見地ニ立ツテ居ルモノデハナイ旨ノ答辯ガアツタノデアリマス、次ニ、果シテ然ラバ國民ノ最低生活ノ保障ヲ國家ノ義務的觀念ニ基イテ行ハウトスルモノデアルコトヲ、本法ノ中ニ明記スベキ管デハナイカトノ質問ニ對シマシテハ、政府ヨリ只今帝國議會ニ於テ審議中ノ帝國憲法改正案第二十三條ニ照セバ、ソレハ當然過ギル程當然ナコトデアアルカラ、特ニ其ノコトヲ明記スル必要ハナイト考ヘテ居ル旨ノ答辯ガアツタノデアリマス、次ニ、本法ノ保護機關タル市町村長ヲ補助スル所ノ民生委員ニハ、適材ヲ得ルコトガ最モ大切デアアル、民生委員ニ其人ヲ得ナケレバナラナイ、斯様ニ考ヘルガ、其ノ人選ニハ特段ナル所ノ意ヲ用ヒル必要ガアルト思フガ、是等ニ對スル政府ノ對策如何トノ質問ニ對シマシテ、政府ヨリハ、市町村毎ニ設ケラルル豫定デアアル民生委員推薦委員會等ヲ十分活用シテ、出來ルダケ民主的ニ眞ノ適材ヲ得ルコトニ極力相努メル旨ノ

答辯ガゴザイマシタ、次ニ、本法ノ如キ國民生活ニ直接關係ヲ持つ法律ヲ、ヨリ効果的ニ運用シテ參ル爲ニハ、先ヅ官民協力ノ態勢ヲ確立シテ、力ヲ協

セテ推進スル必要ガアルト思フガ、ソレ等ニ對スル對策如何トノ質問ガゴザイマシタ、之ニ對シマシテ政府ヨリハ、中央社會事業委員會ト地方社會事業委員會等ヲ刷新活用スルノ外、民間ノ積極的協力ヲ求メテ、眞ニ官民協力ノ實ヲ擧ゲ、以テ御趣旨ニ副フ方針デア

アル旨ノ答辯ガゴザイマシタ、次ニ、本法ニ依ル保護ハ、例ヘバ六大都市等ニ於テハ、假ニ五人世帯ニ付テ言フナラバ三百圓程度シカ豫算ガナイト云フヤウナコトデアアルガ、ソレデ實際上五人ノ家族ノ生活ガ出來得ルト政府ハ考ヘテ居ルカ、又本法ノ施行ニ要スル豫算ハ約三十億デアルト聞イテ居ルガ、此ノ後ノ情勢等ヲ豫想スル時ニ於テ、果シテ其ノ程度デ足りルト政府ハ考ヘテ居ルカドウカ、斯様ナ質問ニ對シマシテ、政府カラ、右ノ三百圓ハ一應ノ

其準デアアルカラ、困窮ノ實情ニ應ジテ必要ナル額ヲ支給スルモノデアアル必要ナル額ヲ支給スルモノデアアル又三十億ノ豫算ハ補充費デアアルカラ、此ノ後必要ニ應ジテ豫備費或ハ追加豫算等ヲ以テ本法施行ニ萬全ヲ期スル用意

等ヲ以テ本法施行ニ萬全ヲ期スル用意

ガ十分アルトノ答辯ガゴザイマシタ、次ニ、本法ニ依ル保護モ、徒ラニ生活費ノ支給ノミ止マツテハ消極的ニ障スル虞ガアルカラ、寧ロ生業ニ就カシメルコト、即チ生業扶助ヲ重視スルコトガ眞ニ民生安定ニ資スル所以デハナイカトノ質問ニ對シマシテ、政府カラハ全ク御同感デアル、本法ノ生業扶助ノ運用ニハ特段ノ工夫ヲ凝ラシテ效果ヲ擧ゲルコトニ努力スル外、新タニ海外同胞引揚者、戰災者其ノ他ニ對シテ、庶民金庫ヲ利用シテ、一世帯三三圓ノ生業資金ノ貸付ヲ極メテ容易ニ行フコトトシタノデアルトノ答辯ガアツタノデアリマス、次ニ本法トノ關聯事項ニ付テノ質問ト致シマシテハ、本法ハ國、都道府縣、市町村等ノ費用ヲ以テ國民ノ最低生活ヲ保障シヨウトスルモノデアルガ、此ノ後ノ社會政策ノ理想形態トシテハ、寧ロ廣洲ナ社會保險ヲ實施シ、國民相互扶助ノ力ニ依ツテ生活ヲ確保シテ行クベキデハナイカトノ質問ニ對シマシテ、政府ハ目下社會保險制度調査會ヲ設ケテ、折角鋭意研究中デアアル旨ノ答辯ガアツタノデアリマス、次ニ、現下ニ於ケル國民健康保險制度ハ、醫療費等ノ昂騰ニ依リ殆ト全國的ニ廢滅ノ危機ニ瀕シテ居ルガ、何トカ之ヲ速カニ建直シテ行ク所ノ方策

ヲ講スベキデハナイカト云フ熱烈ナル各委員ノ要望ニ對シ、政府カラ、目下豫算上ノ必要措置等ニ付テ折衝中デアアルガ、組合團體ノ經理ノ合理化ニ付テモ指導ヲ加ヘタイトノ答辯ガアツタノデアリマス、次ニ、海外ヨリノ引揚者、戰災者、寡婦、孤兒、傷痍者等ノ保護ニ關シテハ、一般ノ温カイ愛ノ手ヲ差伸ベル必要ガアルノデアリナイカ、更ニ又浮浪兒、闇ノ女等ノ防止救濟等ニ政府ハ急速ニ全力ヲ擧ゲナケレバナラナイノデアリナイカ、是等ニ對スル政府ノ對策如何トノ質問ニ對シマシテ、政府カラハ、是等ノ實情ニ即應シテ色々諸對策ヲ講ジテハ居ルガ、更ニ本法ニ依ル保護ヲ積極的ニ加ヘテ參ル外、適當ナル收容所或ハ母子「ホーム」其ノ他各般アルトノ答辯ガアツタノデアリマス、更ニ又本法ニ依レバ、生活困難者ノ子弟ノ教育費ハ、義務教育デアアル所ノ國民學校程度マデシカ其ノ教育費ヲ出セナイ建前ニナツテ居ル、ソコデ教育ノ機會均等ヲ與ヘル爲ニ、優秀ナル所ノ子弟ニ對シテハ、中等學校以上ヘノ進學ト門戸開放ヲモ可能ナラシムル方策ヲ執ルベキデハナイカトノ質問ニ對シ、政府カラ、大日本育英會、同胞援護會其ノ他諸々ノ施設ノ活用等ト相俟

ツテ出來得ル限リ其ノ趣旨ニ副フ旨ノ答辯ガゴザイマシタ
以上委員會ニ於ケル主ナル質問應答ノ概略ヲ申上ゲタノデアリマスガ、審議ヲ通シテ各委員ノ熱烈ナル要望ヲ結集シ、本法此ノ後ノ運用ノ效果發揚ニ資スル爲メ、數箇條カラ成ル附帶決議ヲ行フコトト致シマシタ、左ノ通り委員會ハ附帶決議致シマシタ次第デアリマス
附帶決議
一、民生委員ノ國家待遇ヲ厚クシ、其ノ手當ヲ相當ニ増額スベシ。尙其ノ任期ハ二箇年トスベシ。
二、民生對策上、中央、地方ニ效果的ナル委員會ヲ設ケ、本法運営上ノ萬全ヲ期セラレ度シ。
三、民生委員ノ銓衡方法ヲ民主化シ、町内會長、部落會長、引揚同胞總代、社會事業關係者、要保護者中ヨリモ銓衡セラレ度シ。
四、都、道府縣ノ銓衡委員會ニハ、多分ニ地方議員ヲ參加セシメラレ度シ。
五、本法ヲ中心ニ、社會事業法、司法保護事業法等ノ調整ヲ圖リ且ツ國民健康保險組合ノ改善、失業保險ノ創設ニ前進スベシ。
六、生業扶助一人當リノ扶助額ヲ増

額スルト共ニ、施設費ニ付テモ相當額ヲ増額セシメラレ度シ。
七、國立病院、結核療養所等ノ收容者等ニ對シレモ、本法ニ依ル生活保護ノ愛ノ手ヲ伸ベラレ度シ。
以上ノ如キ經過ヲ以チマシテ討論ニ入ツタノデゴザイマス、討論ニ於キマシテハ、自由黨ノ小柳富太郎君、進歩黨ノ有馬英二君ハ、ソレゾレ附帶決議ノ勵行ヲ強調サレツ原案ニ御賛成ヲナサレマシタ、社會黨ノ長谷川保君ハ、本法ガ國民ノ最低生活ニ關スル法律デアルコトヲ明カニスル爲ニ、第一條ノ「この法律は、生活の保護を要する状態にある者の生活を、國が差別的又は優先的な取扱をなすことなく平等に保護して、社會の福祉を増進することを目的とする。」ト云フ規定ヲ、「この法律は、生活の保護を要する状態にある者の生活を、國が差別的又は優先的な取扱をなすことなく平等に保護して、その最低生活を保障し、社會の福祉を増進することを目的とする。」ト改ムベシトノ修正動議ヲ御提出ニ相成リマシタ、協同黨ノ川越博君、新政會ノ木村チヨ君ハ、同ジク附帶決議ヲ強調サレツ、原案ニ賛成ヲサレマシタ、無所属ノ松谷天光君ハ、長

谷川保君ノ修正動議ニ對シテ賛成ナル旨ノ發言ヲナサレタノデアリマス、ソコデ長谷川保君提出ノ修正動議ニ付キマシテ先ヅ採決ヲ行ヒマシタ所、賛成者少數ノ爲ニ否決サレマシタ、次イデ第一條ノ原案通り可決スベキヤニ付テ採決致シマシタ所、賛成者大多數ニテ可決サレマシタ、次イデ第二條以下第四十七條マデ全條文ヲ原案通り可決スベキヤニ付テ採決致シマシタ所、全員一致ニテ賛成可決サレタ次第デゴザイマス、以上ヲ以チマシテ委員會ノ審議ノ經過及ビ其ノ結果ニ關スル御報告トシテ、之ヲ以テ終リマス(拍手)
○議長(樋貝詮三君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセスカ
○議長(樋貝詮三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○山口喜久一郎君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決セラレシレントヲ望ミマス
○議長(樋貝詮三君) 山口君ノ動議ニ御異議アリマセスカ
○議長(樋貝詮三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
○議長(樋貝詮三君) 御異議ナシト認

メマス、仍テ直チ 衆案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

生活保護法案 第二讀會(確定議)

○議長(補員陸三君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマシタ(拍手)

此ノ際一言致シマス、細道兼光君ヨリ、一昨日ノ本會議ニ於ケル同君ノ發言中、不穩當ナル箇所ガアルトノコトデ、同君ヨリ取消ノ申出ガアリマシタカラ、議長ニ於テ速記録ヲ調査ノ上、適當ノ處置ヲ執ルコトト致シマス、左様御諒承ヲ願ヒマス(拍手)

○山口喜久一 郎君 殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(補員陸三君) 山口君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○議長(補員陸三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時二十六分散會

定價 一部 七十錢

發行所 東京都麹町區大手町
電話九ノ内三五二〇
振替東京一九〇〇〇
印刷局 書課